

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	家庭・子どもの発達と保育	学年	第3学年	教科書	教育図書「子どもの発達と保育」
		単位数	3単位	副教材	第一学習社「2015最新生活ハンドブック 資料&成分表」

学習目標	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
------	---

学習方法	実習、体験、課題などを通して実践的に学びます。 視聴覚教材を取り入れ学習の理解を深めます。 幼稚園等での体験実習を取り入れ、実際に子供との触れ合いができるようにします。
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	①	関心・意欲・態度	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。
	②	思考・判断・表現	子どもを生み育てることや家族の役割、地域の支援などについて課題を見出し、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。
	③	技能	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習によって、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。
	④	知識・理解	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
	⑤		

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解	⑤
学習状況の観察	◎				
作品		◎	◎		
課題の提出と内容	◎	◎	○	◎	
実習への取り組み	◎		◎		
試験				◎	
観点別比重	40%	20%	20%	20%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	子どもの発達の特性	9	発達と環境 発達観・児童観	・子どもはさまざまな環境の影響を受けながら発達していくことを知る。	①子どもに関する児童観や発達観を歴史的な流れの中で知ろうとしている。 ④人の一生を生涯発達としてとらえ、その中でも乳幼児期が特に大切な時期であることを理解し、児童観や発達観に関する歴史的な考え方を理解している	ワークシート 定期試験
	子どもの発達過程	24	乳幼児期からの特徴 人間関係の発達 心の発達	・乳幼児の発育や発達の特徴を学ぶ。 ・乳幼児の精神発達や対人関係などの社会性の発達について理解する。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。	①子どもの発育・発達と保育に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ②子どもの発達には、人々とのかかわりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えている。 ③子どもの健全な発育・発達を支援するために必要な技術を身に付けている。 ④子どもの発育・発達の特徴を理解し、保育と親の役割の重要性を理解している。	ワークシート 課題提出 定期試験
2学期	子どもの生活	6	子どもの健康と生活	・養護の必要性・目的を理解し、発達の段階に応じた適切な養護方法を知る。 ・子どもの食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。	①子どもの生活全般(健康・食生活・衣生活・遊び・生活環境・病気・安全など)について、広く関心を持ち、理解しようとしている。 ②子どもにとっての適切な生活の条件について考え、子どもの養護全般について思考を深め、応用する能力を身に付けている。 ③子どもの発達を理解し、適切なコミュニケーションをとろうとしている。 ③子どもの発達段階に応じた適切な養護の方法や生活援助のための方法が選択できる。 ④子どもの生活を充実・向上させるために必要な基礎的・基本的知識を身に付けている。 ④子どもの発達と遊びの関わりを理解している。	ワークシート 課題提出 定期試験 作品提出
		28	子どもの食事 子どもの衣服 子どもの遊びと生活 保育実習	・適切な衣服や寝具などを理解する。 ・乳幼児と触れ合う体験をする。 ・子どもの心身の健康、安全について理解する。 ・幼児に適するおもちゃを製作する。		

2 学期	子どもの保育	11	保育の意義と 目標 保育の方法 保育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義について考える。 ・子どもにとって望ましい環境とは何かについて理解する。 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの意義を学び、課題について考える。 	<p>①保育する意義について学ぼうとする意欲があり、周囲の大人が果たすべき役割などについて考えようとしている。</p> <p>②家庭保育・集団保育、それぞれの場面での子どもの適切な関わり方について、理解を深めることができる。</p> <p>③幼稚園への訪問実習を通して、子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析できる。</p> <p>④保育の意義や重要性について認識し、今後のあり方について理解している。</p>	ワークシート 課題提出 実習 定期試験
		9	保育の環境			
3 学期	子どもの福祉と子育て支援	18	児童福祉の理念と法規・制度 これからの子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉の理念と法律等について学ぶ。 ・男女共同参画社会におけるこれからの福祉について考える。 ・子育て支援の課題と展望を考える。 	<p>①児童福祉に関する考え方や法律・制度・機関について、興味関心をもっている。</p> <p>②現代における子ども・子育てに関わる問題点や課題について自信の考えを述べることができる。</p> <p>③新聞等から情報を収集し、現代における子ども・子育てに関わる課題を見出し、思考を深め、解決策、理想像について創意工夫する能力を身に付けている。</p> <p>④児童福祉の理念と特徴、児童福祉を実現するための法律や制度について理解している。</p>	ワークシート 課題提出 定期試験
合計時数(50分授業)		105				